

このコーナーでは、市内で働く元気でフレッシュな皆さんを紹介していきます。今回は、介護老人保健施設に勤務している、高橋友里さんと池田香織さんに、お話しをうかがいました。



池田 香織 さん 高橋 友里 さん
 【岩井・19歳】 【上今井・20歳】



——今の仕事を選んだ理由は何ですか。
 幼い時から、おばあちゃん子で、お年寄りと話しをするのが好きなので、介護の仕事を選びました。

——今の仕事を選んだ理由は何ですか。
 小さいころから、お年寄りが好きで、祖母が看護師をしていたので、介護にかかわる職に就きたいと思いました。

——休日はどのように過ごしていますか。趣味はありますか。
 趣味は読書です。小説が好きで、特にダレン・シヤンが面白かったです。

——今後の抱負をお願いします。
 お年寄りとのコミュニケーションを大事にし、先輩の皆さんのように、早く正確に、手際よく仕事をしていきたいです。また、あいさつをしっかりするように心掛けたいです。

——休日はどのように過ごしていますか。趣味はありますか。
 休日は、友人と買い物に出かけたりします。また、映画鑑賞やDVD観賞が趣味で、先日、弟と映画を見て来ました。

——今後の抱負をお願いします。
 まだまだ不慣れですが、先輩の皆さんの指導を受けながら、頑張っていきたいです。将来は、介護福祉士の資格を取りたいと思っています。

広報クイズ

■今月のプレゼント
 月の鬼……5名

問題

10月1日に「●●調査」を実施します



クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、日ごろ感じていることを書き添えて、次の宛先まで送付してください。
 締め切り 9月24日(金)必着
 ※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

383-8614 中野市三好町一丁目 3番19号
 中野市役所 庶務課秘書広報係
 住所・氏名・年齢・電話番号

継承

中野が誇る伝統文化

第28回 布草履制作者 鶴田和子 さん

布草履とは

木綿、特に使い古したタオルや着物などを4〜6cm幅に切り、それを交互に編んで作る草履で、つま先から徐々に編んでいくのが特徴です。対になって編んでいるものなので、なかなか左右対象に美しく仕上がらず、また、布によっては委縮してしまうため手加減が難しく、下準備から履けるように仕上げるまで時間がかかります。

鶴田さんは、幼少時代にわら草履を作っていた経験があり、編み方が同じなので布草履もできるのではと今から3年前、弟さんに道具を作ってもらい、娘さんと二人三脚で布草履作りを始めました。最初は作り方も忘れていたため、



▲娘さんと一緒に作品の制作に励む、鶴田さん

約60年前の記憶をたどり試行錯誤を繰り返しながら、作品作りを続けてきました。完成した作品は、信州中野観光センターフリーマーケットにも出品しています。

布草履の魅力とは

長年使いこなした柔らかい古布を使用するため履き心地がよく、また色合いも美しく癒されます。満足できる作品はなかなかできませんが、実際に履いた方は必ず「履き心地が良く具合良い」と言ってくれます。それが原動力となり、次の作品を作りたいという気持ちになることができます。足裏を刺激するため健康にも良いですし、捨てられてしまう古着や古布を再利用することで、布草履として生まれ変わり、最後まで布としての仕事を全うしてくれます。

皆さんへのメッセージ

布草履は、実際に履いていただくとすばらしさが実感できます。一人でも多くの方に履いていただきたいですね。今月末から西部公民館で布草履講座を開講しますので、興味のある方は是非、ご参加いただければと思います。

市民リレーインタビュー
 走者 キャッチボール

No.36

小林 えみさんから紹介された



阿部 一博 さん
 (家具販売業・江部)

- ①自己紹介
 両親の後を継ぐため、家業である総合インテリアショップで働いています。休日は学生時代の野球部仲間とゴルフに出かけることが多いです。
- ②今後チャレンジしたいこと
 幅広い方々に受け入れてもらえるような店を目指し、商品の種類や配置など店内の雰囲気をよくしていきたいです。
- ③これからのまちづくりに望むこと
 毎年大勢の観光客でにぎわうバラまつりのように観光に力を入れて、中野の知名度を全国規模にしてほしいと思います。

陸上の県大会で優勝したい



長丘小学校 6年 高山 奈央 さん

私の夢は、陸上の県大会に出て優勝することです。一学期、私は二つの陸上大会に出ました。一つは、駅伝の中野市代表としての陸上大会です。毎週がんばって練習し、当日は、雨でしたが、がんばって走りまわりました。結果は三十八位で、くやしかったです。二つ目は、県の陸上大会

の北信予選です。種目は、百メートル走に出ました。駅伝大会のくやしさをこめて、毎朝練習しました。でも、予選では、いい結果を出すことができず、県大会に進むことができませんでした。この二つの陸上大会は、思い通りの結果を出すことができず、悲しい思い出になってしまいました。だからこそ陸上をがんばって、県大会に出て優勝したいという夢ができたのです。この夢がかなうように、中学に入ったら陸上部に入り、練習をがんばりたいと思います。

No.65